

南会津地域感染症通信 10月号

調査対象期間：2021年第39週～2021年第42週（9/26～10/23）

令和3年10月
福島県南会津保健所
電話 0241-63-0306



山の木々も色づき、秋深くなってきました。新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種率が上昇し、現在、新規感染者数は減少しています。季節の変わり目で体調も崩しやすい時期にありますので、自身で健康状態を管理しながら、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

＜今月のトピックス①＞ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは】

- 病原体であるA群レンサ球菌による上気道の感染症です。レンサ球菌は、菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こします。日常よくみられる疾患として、急性咽頭炎の他、膿痂疹、蜂巣織炎などがあります。
- 例年11月～4月頃にかけて流行がみられます。

【感染経路】

- 患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

【症状】

- 2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭痛、咽頭発赤、全身倦怠感などの症状とともに、吐き気や嘔吐を伴うこともあります。
- 感染の初期には、舌が白いコケに覆われたようになり、数日後には毒舌と呼ばれる赤いぶつぶつがみられるようになります。
- 熱は3～5日以内に下がり、1週間以内には症状は改善します。

【治療】

- 抗菌剤による治療を行います。腎炎などの合併症を防ぐため、症状が改善しても主治医に指示された期間、きちんと薬を飲みきることが大切です。
- 喉の痛みがひどい場合は柔らかく薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけましょう。

【予防方法】

- 手洗い、うがい、咳エチケットが有効です。
- 家庭内感染を避けるため、タオルの共用は避けましょう。



＜今月のトピックス②＞ 新型コロナウイルス感染症 第6波に備えて

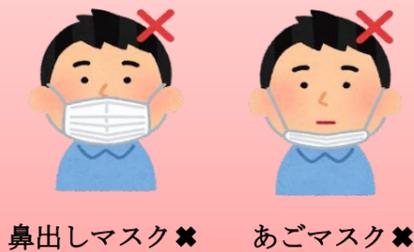


感染の再拡大を防ぐ基本対策のポイント



①マスクを正しく着用

- 外出時・会話時は必ず着用してください。
- 不織布マスクを推奨します。



②飲食時の感染防止対策

- 飲食は、少人数、短時間、いつも一緒にいる人と行ってください。
- 感染対策の徹底された飲食店を利用してください。

ふくしま感染防止
対策認定店
県内4,662店舗
(令和3年10月15日時点)



③ワクチン接種後も基本対策の徹底

- ワクチンは、発症や重症化を予防する効果があります。しかし、感染を完全に防ぐことはできません。

※ ワクチン接種後も、「うっさない」、「うつらない」行動をお願いします。



* 県内及び各都道府県の発生状況は、県HPで確認できます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/>

福島県 新型コロナポータル

検索

